

～下記の研究を行います～

『持続間接熱量計を用いた

酸素需給バランスモニタリングに関する検討』

【研究責任者】救命救急センター 医員 野邊亮丞

【研究の目的】持続間接熱量計を用いた酸素消費量の連続モニタリングと血圧やフロートラックによる心拍出量などの従来の循環指標との関連を明らかにすること。

【研究の期間】研究許可日～2026年3月31日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2023年4月から2026年3月の期間に当院救命救急センターに入院し、人工呼吸器管理を要した患者さんのうち、持続間接熱量計から酸素消費量、二酸化炭素生成量、消費エネルギー量、呼吸商のデータを入院後から人工呼吸器離脱まで取得可能であった患者さんを対象とします。

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：診療録から以下の情報を収集します。

心拍出量や血圧などのデータ、入院期間、ICU期間、APACHE IIスコア、転帰、患者背景等

【情報等収集開始予定日】2024年6月24日

【情報等の管理責任者の氏名】国立病院機構大阪医療センター院長 松村泰志

【研究の資金源】なし

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI (シ-オーアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

◎ご希望があれば、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

◎情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方に

ご了承いただけない場合には、研究対象としないので、情報等収集開始予定日以降でも下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

- ◎情報等の当該研究利用の停止についてご連絡いただいた場合、それまでに収集した情報等は使用いたしません。が、あなたの情報等のみを取り除くことができない場合（既に研究の結果が公表されている場合等）は使用させていただき、廃棄できない可能性があることをご了承ください。

国立病院機構大阪医療センター
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14
TEL (06) 6942-1331 (代)
研究責任者 救命救急センター 医員 野邊亮丞